

## 7月28日開催、第154回砂利船部会議事概要

当日、神戸市生田神社会館において、藤井会長、原田担当副会長、村田副会長 臨席の下、標記部会を開催し、松田部会長が議長に就任し、概要以下の通り審議した。

### 1. 砂利船部会役員の交代について

議長の指示により事務局は、部会員の交代について説明し、議長が諮った処、了承された。(以下敬称略)

工藤 俊彦(北海道)(新任)          木村 英樹(北海道)(退任)

### 2. 平成28年度部会活動方針について

議長は、議論の結果、全海運の事業計画に沿って活動してゆくとともに、若年船員の育成と雇用、またそれに係る育成費用等国からの援助(補助金等)を引き続き要望していきたい旨述べ、了承された。

### 3. 暫定措置事業関連諸規則について

事務局より暫定措置事業における建造等納付金の納付額を減額するための事業集約等に関する審査基準と平成28年度の細則改正に関するQ&Aの追加項目の説明を行い、了承された。

### 4. 内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会審議状況について

事務局より7月1日に開催された第3回内航海運活性化に向けた今後の方向性検討会について概要説明を行い、了承された。

### 5. その他

#### イ、商法(海商編)改正について

事務局より7月8日に開催された商法(運送・海商関係)改正に係る勉強会の概要について説明を行い、了承された。

尚、出席委員より同一湾内における砂・砂利輸送に関連し、港湾運送事業との競合について発言があった。

#### ロ、退職自衛官の内航船員への転職について

事務局より資料に基づき、説明するとともに、退職自衛官の採用に向けて協力方を要請し、了承された。

以下で当日の全議題を終了し、議長は閉会を宣した。

以上